

対象年度		令和 8年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		少子化対策医療費助成事業						予算事業名		少子化対策医療費助成事業費			
予算科目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	結城市医療福祉費支給に関する条例			
				03	01	05	20	経常経費					
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう 未来を担う子どもを育む環境づくり 子育て家庭への支援						事業の区分		主要事業 重点事業 保険年金課 医療福祉係			
事業期間		継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
子育て家庭への経済的負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりを目指す。						各市町村で県の制度以外に市単独助成を行っているが、対象年齢・助成範囲はそれぞれ異なる。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
県の医療費助成対象外区分の外来自己負担 (1 医療機関 1 回600円、月 2 回まで) 及び入院自己負担 (1 日300円、月3,000円まで) を超えた医療費を助成する。 また、令和 6 年10月診療分からは、妊産婦及び0 歳から18歳までの自己負担分についても助成し、無償化を開始した。						県の医療費助成が所得制限により非該当となる妊産婦、0 歳から小学校 6 年生、中学生・高校生相当の入院分。及び県の医療費助成の対象外である中学生・高校生相当の外来分。 令和 6 年10月診療分からは、妊産婦及び0 歳から18歳までの自己負担 【事業をとりまく環境の変化】 医療費助成の年齢拡大を望む声が多い中、本市では平成26年度より対象年齢を中学生卒業まで拡大し、平成27年度には高校生相当まで拡大した。また、平成26年10月診療分より県の制度が0 歳から小学校 6 年生と中学生の入院分まで拡大され、平成30年10月診療分から高校生相当の入院費分が拡大された。 さらに令和 6 年10月診療分からは本市の独自施策として、妊産婦及び0 歳から18歳までの自己負担分の無償化を開始した。							
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
<ul style="list-style-type: none"> 県の医療費助成が所得制限により非該当となる妊産婦及び0 歳から18歳の外来と入院分を助成。 県の医療費助成が対象外の中学生と高校生の外来分の助成。 妊産婦及び0 歳から18歳までの自己負担分の助成。 				<ul style="list-style-type: none"> 県の医療費助成が所得制限により非該当となる妊産婦及び0 歳から18歳の外来と入院分を助成。 県の医療費助成が対象外の中学生と高校生の外来分の助成。 妊産婦及び0 歳から18歳までの自己負担分の助成。 				<ul style="list-style-type: none"> 県の医療費助成が所得制限により非該当となる妊産婦及び0 歳から18歳の外来と入院分を助成。 県の医療費助成が対象外の中学生と高校生の外来分の助成。 妊産婦及び0 歳から18歳までの自己負担分の助成。 					
■ 事業費													
		R06年度		R07年度									
財源内訳	国庫支出金	0		0									
	県支出金	0		0									
	地方債	0		0									
	その他	0		0									
	一般財源	57,522		82,661									
歳入計 (千円)		57,522		82,661									
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)								
	11 役務費		1,405		1,035								
	12 委託料		128		58								
	19 扶助費		55,989		81,568								
歳出計 (千円) (A)		57,522		82,661									
伸び率 (%)				43.70									
備考													
総合計画45ページ、予算書91ページ													

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	医療費の助成（審査支払手数料）	件	目標	19,440.00	0.00	0.00
			実績	19,350.00	0.00	0.00
	受給者数（年平均数）	人	目標	9,437.00	0.00	0.00
			実績	9,266.00	0.00	0.00
成果 指標	扶助費（支出額）	千円	目標	52,120.00	0.00	0.00
			実績	55,989.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	住民からのニーズは高く、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現時点では、現在の方法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	県の医療費助成制度を拡充して市単独事業を行なっているため事務が煩雑なところ、無償化により更に事務量が增大している。いばらき電子申請を利用した保険資格情報の変更届や受給者証の再発行申請を開始したため、子育て世帯の利便性も高めていきたい。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	県の医療費助成制度で対象にならない部分を市単独事業として補っており、公平性に偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	県の医療費助成制度の対象にならない部分を補うことで、子育て世帯の経済的負担軽減になるが、出生数は減少している。出生率向上に向けて、令和6年度から妊産婦及び18歳までの小児において無償化を開始した。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	新型コロナウイルス蔓延後のインフルエンザやマイコプラズマ肺炎など、感染症の流行により想定以上に増加した医療費について、助成することができた。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
<p>県の制度の対象とならない世帯を含め、妊産婦及び0歳から18歳までの小児の医療費を無償化を開始したことにより、子育て世帯の経済的負担軽減が図られ、安心して子育てできる環境が整備された。</p> <p>一方、県の医療費助成制度を拡充して市単独事業を行なっているため事務が煩雑なところ、無償化により更に事務量が增大している。バンダーとのシステム改修に向けた打合せを進めると共に、国の進めている医療DXの進捗を注視したい。</p>			
<p>対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか</p> <p>現在、中高生の医療費については、入院分のみが県の補助対象となっており、県内他市町村においても外来分については市単独事業で補助している状況である。</p> <p>県や国において高校生まで全ての医療費を助成対象とするように、今後も継続して補助の拡大を要望しつつ、本市の独自の無償化制度を継続していきたい。</p>			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置 </p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>市独自で県のマル福制度を補完しており、さらに令和6年10月から自己負担分を助成し完全無償化を図り、子育て世帯の経済的負担を軽減している。無償化開始後は、事務の煩雑化が増し、安定した事業展開には正職員の配置が必要である。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置 </p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>